

八十里越ルート整備及び産業遺産調査研究事業

特定非営利活動法人 しただの里

〇はじめに

八十里越は司馬遼太郎の小説「峠」の舞台となったことや、河井継之助の「八十里越ぬけ武士の越す峠」の狂句などで知られる、新潟県と福島県を結ぶ歴史の道である。

平成 28 年度、当該研究助成事業の採択を得て「八十里越ルート調査及び古道トレッキングコース整備事業」に取り組めたことで、八十里越の新道・古道を 14 回に亘り調査・整備し、専門家を交えた研究により、史実に沿った調査結果を「八十里越フォーラム」にて発表する事ができた。

また、その八十里越フォーラムでは 200 名を超える参加者があり、当団体としても改めて八十里越の魅力と人気の高さを認識した次第である。

そこで、平成 28 年度の取り組みの結果を更に活かすため、平成 29 年度は八十里越や吉ヶ平の歴史遺産の一つである『北越鉦山跡地』にスポットを当て、新たな歴史産業遺産巡りトレッキングコースを調査・研究し、安全に八十里越の山道を往来するためのルート整備と魅力ある歴史産業遺産コース開発に取り組み、更なる多様な観光客の誘致を促進することで地域の活性化を図った。

スケジュールとしては、

(1) 八十里越ルート整備

吉ヶ平自然体感の郷管理組合や吉ヶ平保存会などの地域コミュニティやNPO、整備ボランティア市民などと協働し、平成 29 年 4 月～10 月の期間、八十里越古道新道トレッキングルートの安全確保のための整備に取り組んだ。

(2) 産業遺産調査研究

上記のルート整備と同時に、八十里越や吉ヶ平の史書に記されている「北越鉦山跡地」に至るルートを調査し、安全に往来できるルート整備と歴史産業遺産としての研究に取り組んだ。

(3) 八十里越フォーラム

上記の『北越鉦山跡地』歴史産業遺産発掘の調査・研究結果や八十里越の魅力を、共同研究者の専門家や研究者をゲストに招き、事業の成果をPRする「八十里越フォーラム」を開催した。

〇八十里越ルート整備調査研究報告

5/3-4	5 名	會越国境鉦山へ溶鉦炉を運んだルート調査
5/27-28	5 名	裏八十里ルート調査
6/11	6 名	椿尾根までの八十里調査整備（除草）
6/18	7 名	同
6/19	3 名	裏八十里ルート調査

- 6/26 3名 椿尾根までの八十里調査整備（除草・看板付け）
- 8/16 3名 只見町河井墓前祭 講演会
- 9/4 2名 椿尾根までの八十里調査整備（除草）
- 9/10 2名 同
- 9/11 2名 同
- 9/23 4名 同
- 9/25 4名 同
- 10/8 4名 同
- 10/30 2名 椿尾根までの八十里調査整備（除草・看板付け）
- 11/ 2 3名 國井氏と只見町へ八十里調査
- 11/ 3 32名 國井氏と番屋山までの八十里トレッキングツアー

（以上、全 16 回）



5/3-4 5名 會越国境鉱山へ溶鉱炉を運んだルート調査



5/27-28 5名 裏八十里ルート調査



6/19 3名 裏八十里ルート調査



6/26 3名 椿尾根までの八十里調査整備（除草・看板付け）



9/23 2名 椿尾根までの八十里調査整備（除草）



10/8 4名 椿尾根までの八十里調査整備（除草）



11/ 3 32名 国井氏と番屋山までの八十里トレッキングツアー



○八十里越フォーラム

日 程：平成 29 年 11 月 19 日（日） 午後 1 時～3 時 20 分

会 場：漢学の里 諸橋轍次記念館

参加者：200 名

第一部 八十里越ルート整備及び産業遺産調査研究報告会

第二部 パネルディスカッション 八十里と歴史産業遺産

ゲスト：国井 雅比古氏 元NHK エグゼクティブアナウンサー

日本トレッキング協会 会長

パネリスト：尾崎 高宏 新潟県教育庁文化行政課 世界遺産登録推進室

高野 晶文 三条市市民部生涯学習課 文化財係

長谷部 忠夫 只見町叶津番所 長谷部家当主



主催：特定非営利活動法人したの里
 協賛：中込 孝雄 新潟県 産業遺産調査センター TEL:025-244-9609 FAX:025-244-9608 開催日時：11月19日 9:00～18:00
 ※この事業は第23回「産業遺産調査報告会」に際しての特別企画として開催されます。



○まとめ

第 21 回「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業として「八十里越ルート調査及び古道トレッキングコース整備事業」、第 22 回「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業として「八十里越ルート整備及び産業遺産調査研究事業」を当助成により実施できたことで、新潟・福島両県で活動する各種専門家や歴史研究者、行政や地域コミュニティ等の連携を図りネットワークを構築することができた。

これらのネットワークを活かし、今後も継続して八十里越の活性化や観光促進に取り組む。

また、今回のフォーラムも昨年同様多くの方が参加し、将来のグローバルな観光産業を担う人材として、今後とも郷土の歴史文化等の体験学習の機会の創出や情報発信の場の創出を、産官学民の連携強化により実現していく。

○今後

平成 30 年は戊辰戦争終結から 150 年目となり、新潟・福島両県でも様々な記念事業が計画されている。一方、観光産業の分野では 2020 年東京オリンピック開催に向け、日本の文化歴史に興味を持つ外国人観光客の地方誘致が喫緊の課題となっている。

これらの背景から、三条市下田地区の八十里越という豊かな自然や史実を持つ地域財を、戊辰 150 年に関する様々な企画と連携させることで、観光資源としての魅力や価値を増大させ、更に只見町での戊辰 150 年の取り組みとも連携する事で、広域に観光客の誘致促進を図りたい。

また、歴史研究者や教員等と連携し、小中高校生を参加対象として開催する『リアル戊辰戦争体験 3DAYS』イベントを企画・開催し、過疎化が進行する中山間地・下田地区の将来のグローバルな観光産業の活性化や、八十里越ルート・歴史街道の維持保存を担う次世代育成のため、子ども達の郷土の歴史感の深化と情報発信力養成を図りたい。

更に、これらの事業を通して、新潟・福島両県を結ぶ国道 289 号「八十里越道路」の通行不能区間の早期解消の機運を高めたい。